

# 薬草園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？  
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年  
5月21日  
第42号



## アカメガシワ (トウダイグサ科)

園の育苗室近くで、赤い若芽と若葉が目をはびきます。この木の親木は害虫の仕業か、朽ちてしまいました。新しい命を見守りたいです。若い赤い葉は夏場になると、赤みがとれて緑の大きな葉になります。本州以西に生える落葉高木で、雌雄異株です。若芽が赤いのと柏に似た葉でアカメガシワ（赤芽柏）の名が！写真は蕾の状態、夏には淡黄色の花を立ち上がらせます。この木はおそらく雌株と思います（赤く見える部分は子房を覆う腺毛が赤色なので）。樹皮を生薬アカメガシワ（植物名と同じ）と云い、民間薬として整腸、健胃を目的に利用します。食薬区分で「非医」であるため、食品としても利用されますが、あくまで、医師、薬剤師の管理下のみで用いるべきです。

今、こんな草木がたのしめます！

## イボタノキ (モクセイ科)

園内、水生植物区の池の横に白い花が見られます。国内の北海道から九州までの各地と朝鮮半島、中国まで分布する落葉低木です。イボタノキの仲間（ネズミモチも）の樹皮にはイボタロウムシ（カイガラムシの一種）が付きます。初夏に孵化し、蠟（ろう）を分泌しながら群生し、蠟の中できなぎになり、秋から冬の初めに成虫が羽化、その後の蠟を採取したのがイボタ蠟です。民間薬としてイボ取りとして用いられる（イボトリノキが転訛してイボタノキと命名されたとか！）ほか、光沢料、滑沢料として木工品や家具の艶出しや、引き戸のレールに塗ったりします。

待ってま～す！！